

神社一覽

神社名	祭神	所在地
中山神社	木花佐久夜比売命	原・本宿・新田
菅原神社	菅原道真	原
八幡神社	誉田別命	原
諏訪社	健御名方命	原
三島神社	大山祇命、大国主命、事代主命	本宿
熊野神社	速玉男命、事解男命、伊奘冉命、菅原道真、倉稻魂命	熊野
山代神社	大山祇命	関田
浅間神社	木花開耶姫命	役原
諏訪神社	健御名方命、八坂刀売命	関田
尻高神社	誉田別命	北之谷

寺院一覽

寺院名	本寺	本尊	宗派	所在地
法信寺	沼田市正覚寺末	阿弥陀如来	浄土宗	本宿
雙松寺	渋川市中郷双林寺末	釈迦如来	曹洞宗	本宿
泉龍寺	みなかみ町獄林寺末	釈迦如来	曹洞宗	熊野
福蔵寺	滋賀県大津市園城寺末	正観音 不動明王	天台寺門宗	熊野
不動堂	法信寺持	不動明王	浄土宗	五領
観音堂	法信寺持	馬頭観世音	浄土宗	新田
薬師堂	雙松寺持	薬師如来	曹洞宗	本宿
龍昌庵	泉龍寺兼帯	聖徳太子	曹洞宗	火の口



こりんとう
五輪塔

一切の物質を構成する五大をかたどった5つの部分から成る塔です。

下から、地輪、水輪、火輪、風輪、空輪の形で象徴したものとされています。供養塔などとして平安中期頃から建てられました。

所在地	銘文	塔高(cm)	建立年月日
関田（どうどう西北）	空風火水地	150	寛保2壬戌8月28日（1741）
関田（どうどう西北）	空風火水地	180	享保12年（1727）
関田（どうどう西北）	空風火水地	140	宝暦5乙亥5月13日（1755）
関田（泉照寺東）		45	
熊野（元宿 常盤之塔）		95	
判形（中山城址 城明神）2基		65	

この他にも、多くのものが村内に点在していることが確認されています。



ほうきょういんとう
宝篋印塔

内部に「宝篋印塔陀羅尼」の経文を取めたことに由来する塔で、石造の小塔が一般的です。方形の階段上の基礎の上に、方形の塔身をおき、塔身四面に四方仏か種字しゅじを刻み、その上に方形の階段状の屋根をのせ、四隅に隅飾りを立て、頂上に相輪そうりんをのせるのが普遍的です。鎌倉中期から墓碑、追善塔として性格を変えてきました。

所在地	塔高(cm)	建立年月日
原（和田不動境内）	240	元禄年中（1688～1703）
本宿（三島神社裏山）	120	明德3年（1392）
本宿（雙松寺一切経堂南）	220	天保4年（1833）
本宿（雙松寺南）	180	安永7年（1778）
本宿（関家裏）	165	
五領（不動堂南）	225	享保15庚戌4月24日（1730）
判形（判形公民館西）西	195	
判形（判形公民館西）中	195	元禄2己巳4月2日（1689）
判形（判形公民館西）東	200	文化4卯5月（1807）
北之谷（松井家墓地）	260	天明4辰8月吉日（1784）
火の口（公民館東）	220	
熊野（泉龍寺）	220	

この他にも、多くのものが村内に点在していることが確認されています。

文化財施設一覧

この一覧は、文化財の名称や行事等の内容を主に記載しています。

「要問合せ」欄に○の付いている施設等を見学したい場合は、必ず事前に連絡をお願いします。

なお、問合せをいただいても見学ができない場合もありますのであらかじめご了承ください。

(問合せ先)

高山村教育委員会事務局 0279-63-3046
 高山村役場 地域振興課 0279-63-2111

	文化財の名称	要問合せ	行事等の予定（参考）
1	<small>しったかにんぎょう</small> 尻高人形 （国選択無形民俗文化財 S53.1.31） （県指定文化財 S30.1.31）	○	いぶき会館1F（レプリカ展示） 定期公演を毎年11月23日に、西地区 屋内ゲートボール場常設舞台で開催
2	<small>ひらかたけじゅうたくもんや</small> 平形家住宅門屋 （国登録有形文化財 H10.9.2）	○	
3	<small>せんりゅうじ こうやまき</small> 泉龍寺の高野槇 （県指定天然記念物 S29.3.30）		
4	<small>なかやましきいしじゅうきよあと</small> 中山敷石住居跡 （県指定史跡 S48.8.21）	○	
5	<small>たかやま</small> 高山のゴヨウツツジ （県指定天然記念物 S30.1.14）		開花時期は5月中旬～下旬頃
6	<small>みしまじんじゃすぎなみき</small> 三島神社杉並木 （県指定天然記念物 S59.7.3）		
7	<small>みしまじんじゃしゃでん</small> 三島神社社殿 （村指定文化財 S40.6.1）		
8	<small>みしまじんじゃだいだいかぐら</small> 三島神社太々神楽 （村指定文化財 S40.6.1）		祭典（4月・9月）
9	<small>しったかじんじゃだいだいかぐら</small> 尻高神社太々神楽 （村指定文化財 S40.6.1）		祭典（9月）
10	<small>やくばらじし</small> 役原獅子 （村指定文化財 S40.6.1）		祭典（8月）

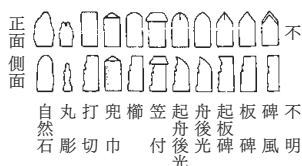
	文化財の名称	要問合せ	行事等の予定（参考）
11	かんのんやままがいぶつ ひゃっかんのん 観音山摩崖仏（百観音） （村指定文化財 S52.10.1）		
12	なかやまじんじやおおすぎ 中山神社大杉 （村指定文化財 S52.10.1）		
13	きたのやいなりじんじや 北之谷稲荷神社 （村指定文化財 S55.2.21）	○	祭典（2月11日）
14	なかやまじょうし 中山城址 （村指定文化財 H1.11.30）		
15	しったかじょうし 尻高城址 （村指定文化財 H1.11.30）		
16	なくたきょうかい 名久多教会 （村指定文化財 H1.11.30）	○	
17	なかやまじゆくしんでんほんじん おお 中山宿新田本陣の大げやき （村指定文化財 H1.11.30）		
18	なぎなた ^{ざか} ^{かひ} 坂の歌碑 （村指定文化財 H1.11.30）		
19	ごりょうふどうそん 五領不動尊 （村指定文化財 H8.6.27）	○	初不動（1月・9月）
20	そ ^{もり} 添うが森 （村指定文化財 H26.1.17）		
21	そ ^{もり} 添わずが森 （村指定文化財 H26.1.17）		
22	なかやまじゆくしんでんほんじん 中山宿新田本陣 （村指定文化財 H28.3.24）	○	
23	まんようかひ 万葉歌碑 （村指定文化財 H28.12.21）		
24	そうしょうじてつげんばんいっさいきょう 雙松寺鉄眼版一切経 （村指定文化財 H29.6.28）	○	
25	きたむきかんぜおんどう 北向観世音堂		祭典（1月18日）
26	そうしょうじ 雙松寺		

	文化財の名称	要問合せ	行事等の予定（参考）
27	ほうしんじ 法信寺		
28	せんりゅうじ 泉龍寺		
29	みくにかいどう なかやまじゅく 三国街道と中山宿		
30	にしかたおうこうせきひ 西形翁功績碑		
31	せんかくしゃしょうとくひ 先覚者頌徳碑		
32	しおばらたすけせったいちゃやあと 塩原太助接待茶屋跡		
33	わかやまばくすいかひ 若山牧水歌碑		
34	どうどう（ <small>どうどう</small> 鏗々） <small>ふち</small> 淵		
35	なかやまこじょうし 中山古城址		
36	ごりょう ひやくばんけちがんとう 五領の百番結願塔		
37	しおばらたすけうま <small>まつ</small> 塩原太助馬つなぎの松		
38	ごんげんやまじょうし 権現山城址		
39	みしまじんじゃかけぼとけ 三島神社懸仏	○	
40	みしまじんじゃむげん <small>がく</small> 三島神社無幻の額	○	
41	ほうしんじあみだによらいぞう 法信寺阿弥陀如来像	○	
42	そうしょうじだいはんにゃきょう 雙松寺大般若経	○	

道祖神一覽

No.	場 所	像			年 代	十千 十二支	西曆	H30年 逆算	寸 法 像×高×巾	持物	備 考
		碑型	姿態	区分							
1	判形(溝口)①	起	添	手	宝暦元辛未天11月吉日	辛未	1751	267	50×76×26		
2	判形(溝口)②	不	並	祝					44×65×40	徳盃	無し
3	関 田	舟	添	合	享保12未年	丁未	1727	291	40×65×40		
4	関 田(上)	起	添	抱	宝暦13年6月吉	癸未	1763	255	31×49×25		
5	関 田(下)	自	並	祝	明和3丙戌天4月吉日	丙戌	1766	252	31×63×53	徳盃	
6	戸 室(舟久保)	起	添	手	寛延4年未8月吉日	辛未	1751	267	57×94×54		
7	戸 室(赤 狩)	不	添	手	享保12年未	丁未	1727	291	37×43×37		
8	戸 室(赤狩西)	舟	並	抱	寛保元年3月吉日	辛酉	1741	277	43×67×40		
9	北之谷(古屋・田の道)	起	並	手	享保11年天丙4月吉日	丙午	1726	292	36×56×30		
10	戸 室(との坂)	舟	並	合					27×54×32		
11	北 之 谷	舟	並	祝	延享4丁卯天11月吉祥日	丁卯	1747	271	35×50×47	徳盃	
12	熊 野(並 木)	舟	添	手	享保11年午5月吉日	丙午	1726	292	38×57×37		
13	熊 野(元 宿)	自	添	祝	寛政10戊午年12月吉日	戊午	1798	220	28×68×61	徳盃	
14	火 の 口 南(下)	舟	並	手	享保10年6月吉日	乙巳	1725	293	27×47×28		
15	火 の 口 中(中)	破	並	祝	寛延4年未2月吉日	辛未	1751	267	37×63×40	幣笏	
16	火 の 口(上)	舟	並	手					47×79×45		
17	判形(関口)	不	並	祝	9月吉日				30×40×30	徳盃	
18	梅 沢	板	添	手	安永7年2月吉日	戊戌	1778	240	28×48×27		
19	原 (和 田)	舟	並	祝	元文5年庚申7月	庚申	1740	278	34×58×42	扇蓮	
20	原	不	並	祝					31×40×30	徳盃	
21	原 (谷 地)	舟	添	手					38×55×28		
22	原 (堂 山)	破	並	祝					34×56×26	徳盃	
23	本 宿(日 向)	舟	並	合	寛保元年辛酉3月吉日	辛酉	1741	277	39×64×41	扇蓮	
24	本 宿(田 中)	舟	添	手	宝暦11天巳10月吉日	辛巳	1761	257	49×61×35		
25	本 宿(下 宿)	自	添	手	平成17年		2005	13	90×41×85		
26	本 宿(日影山)	破	添	手	宝暦7丁丑年10月吉日	丁丑	1757	261	34×54×33		
27	新 田(下 宿)	舟	添	手					38×63×34		
28	新 田(清水谷)①	自	添	祝	嘉永5年壬月吉日	壬子	1852	166	46×64×35	徳盃	足踏
29	新 田(清水谷)②	不	並	合	嘉永3年1月	庚戌	1850	168	60×82×52		
30	新 田(西沢口)	自		文字	寛政10年	戊午	1798	220	150×100		惣村中に建立
31	東 五 領(南)	舟	並	手	宝暦8年	戊寅	1758	260	46×27×38		
32	五 領(笠)①	舟	並	祝	昭和9年1月吉日	甲戌	1934	84	46×65×41	徳盃	
33	五 領(笠)②	舟	並	合					39×71×37		
34	西五領(三本辻)	舟	並	合	享保14年	己酉	1729	289	35×59×54		
35	役 原	起	並	合	寛延4辛未天4月吉日	辛未	1751	267	54×82×50		
36	判形(柿平橋)①	舟	添	抱	宝暦13天未7月吉日	癸未	1763	255	46×68×40		※
37	判形(柿平橋)②	自	添	祝	明治40年旧正月吉日	辛亥	1911	107	44×79×77	徳盃	
38	茶 屋 ケ 松	自	添	祝	平成元年12月吉日	丁巳	1989	29	23×45×38	徳盃	

碑型分類図



双体道祖神の区分

- 合掌像 手を合せて合掌している像
- 祝言像 酒器を持っている像
- 手握像 手を握り合っている像
- 抱擁像 抱き合っている像
- 乳房ふれ像 男神が女神の乳を探っている像
- 頬寄せ像 頬を寄せ合っている像

双体道祖神の姿態

- 並立像 二神の体が離れている像
- 添立像 二神が寄りそっている像

寸法



※明治39年7月14日より大風雨おこり16日午前6時増水し海の如し、流出せる家屋も多しとある。この水害により西原柿平の川岸にあったものを西原地区と一緒に祭ったとある。